



中田 清介 議員

**高山駅西口地区整備の方向性と交通政策及び交流施設について**

**今後の交通政策の要となるのが駅西口地区整備ではないか**

○ 観光を中心とする流入交通を受け止める中心拠点が今後整備が予定される駅西口地区。市内各駐車場の連携が重視される中で、望ましい規模での整備はできるのか、又その連携体制や運営主体についての考えは。

○ 駅自由通路の開通で、これまで以上に駅西駐車場から東の観光エリアへの流れが増える予想する。普通車144台、バス10台を確保するよう整備を進める。運営主体については、整備後は市営駐車場として管理する予定。匠通りや西口駅前広場、平成29年度に完

成する東口駅前広場の管理等も合わせ、どのような維持管理の方法が適切なのか今後検討していく。

○ 駅西口整備の中で、交流施設整備の問題はとん挫している。今後適正規模での施設整備は求められるものと考えられる。駅西口地区整備のなかでどう位置づけていくのか。

○ 来年度完成する高山駅周辺整備事業としては、交流センターといった箱モノの整備は見合せているが、今後同地区における市民文化会館、総合福祉センターなどの既存公共施設の整備も合わせ、どういった整備が必要なのか検討していきたい。



藤江 久子 議員

**何が課題かを分析した上で、政策展開できているのか**

○ 65歳以上の高齢者のインフルエンザ予防接種率が下がっている。65歳になったときに知らせるべきでは。

○ きめ細かな周知に努めていく。

○ 民間事業者の温水プールは、いつできるのか。

○ 今年の秋と聞いています。

○ 医療行為を必要とする障がい児者のショートステイは可能になるのか。

○ 現在ある補助制度を活用して、お泊りデイ(ショートと同様)が利用できるようにする。

**市民意見交換会の中から、子育てに関するご意見について**

○ 子どもが安心して遊べる公園が、身近に整

備できないか。

○ 遊びやすい公園整備に心掛けていく。

○ 支所地域の乳幼児健診は地元で出来ないか。

○ 集団の中の様子をみるため高山市保健センターまで来て欲しい。

○ バスに乗って遠方より来なければならぬ困難さに寄り添う姿勢がない。せめて、バスの補助制度の案内をす

るとか。健診時だけでも無料にするとか考え

るべきではないか。

○ 受診しやすくなるよう検討する。

○ 飛騨の高校生のバス代が年額27万円にもなり大きな負担になっている。飛騨市では半額補助してくれるらしいが、市の考えは。

○ 支援のあり方を検討する。



山腰 恵一 議員

**移住・定住に繋がる「ものづくり」への振興を**

**救急救命について**

○ 高齢化の進展による急病が増加している。将来の需要予測と体制確保は。

○ 若干の増加又は横ばいが続く。現状の体制を確保する。

○ 市郊外にはAEDの設置施設が極めて少ないことから、公民館等の一時避難所に設置が必要と考えるが。

○ 公民館等の設置ニーズは増加している。災害時も考慮し移設や新設など設置基準の見直しを行っている。

○ 24時間利用が可能なコンビニへの設置を推進しては。

○ 有効な場所であることから設置のあり方を含め検討する。

**人工内耳装用者への補助について**

○ 人工内耳者への体外装置の購入補助についてどう検討されているのか。

○ 更新や修理について、日常生活用具の対象とするか検討を進めている。

**クラフト等のものづくりへの振興について**

○ 魅力ある作品を作る作家が多く育っている。振興を図ってはどうか。

○ 作品の展示・販売など情報発信に努める。

○ 飛騨高山クラフトフェアをまちなかで開催しては。

○ 関係者と意見交換して意向を確認する。